

7 結露について

結露とは、暖かい空気に含まれている水蒸気が冷やされ、気体でいられなくなって窓や壁、天井などの冷たい部分に水滴となってあらわれる現象のことをいいます。

結露をそのままにしておくと、壁や天井にカビが発生したり、家具、畳などが腐りやすくなります。

鉄筋コンクリート造住宅は、気密性に優れ、室内はとても暖かいものです。反面、室内の水蒸気が外に出にくくなっているため、結露が発生しやすいわけです。結露に関して寄せられる苦情や相談の大部分は入所者の皆さんの日頃の住まい方を、工夫すれば解消することが多いものです。

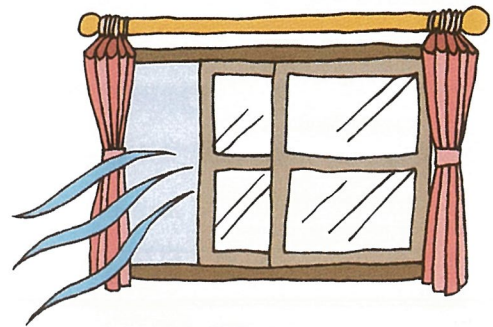
これからの説明をよく読んで、結露を防ぐ住まい方の工夫をされるようお願いします。

■結露の発生しやすいところ

①冷えるところ

- (1) 暖房していない独立した北側の部屋
- (2) トイレ
- (3) 玄関

※特に窓及びその周辺や外気に面した壁、空気の流れにくい家具の裏や、部屋の四隅などで水滴となって結露します。

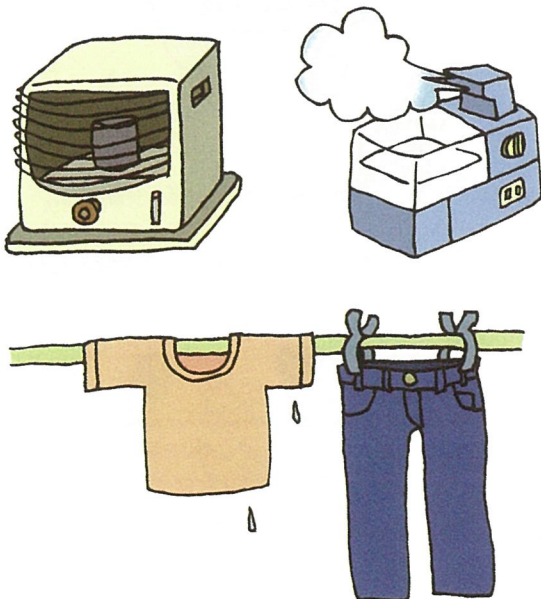


②水蒸気をたくさん発生するところ

- (1) 浴室
- (2) キッチン

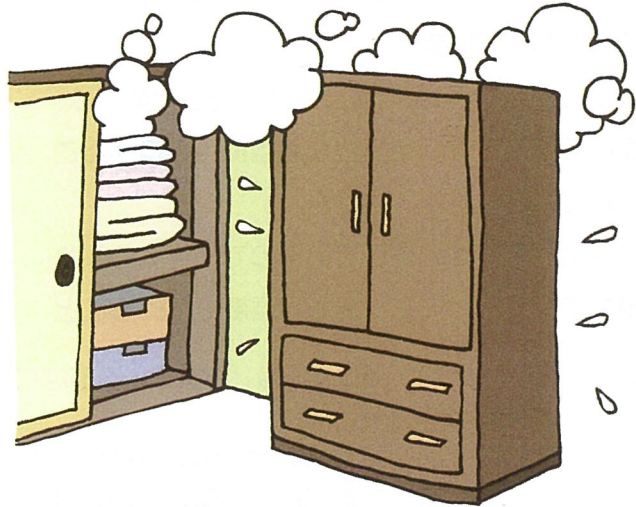
水蒸気をたくさん発生するもの

- (1) ストープ類
- (2) 調理器具、ヤカン等
- (3) 湯沸器（室内に設置し直接排気をしていないもの）
- (4) 洗濯物
- (5) 加湿器
- (6) 盆栽等



③空気の流れにくいところ

- (1) 家具の裏
- (2) 押入
- (3) 部屋の四隅



■結露を防ぐ生活のしかた

鉄筋コンクリート造住宅は、木造住宅に比べて気密性が非常に高いため、隙間風がなく暖かいです。同時に部屋の中の水蒸気も外に出にくくなっています。

したがって、結露を防ぐ生活を送るためには、室内の空気と外の空気とを適当に入れ換えることが必要なのです。

また、外気は乾燥しているため、空気を入れ換えを行うことにより室内の湿度を下げるこ

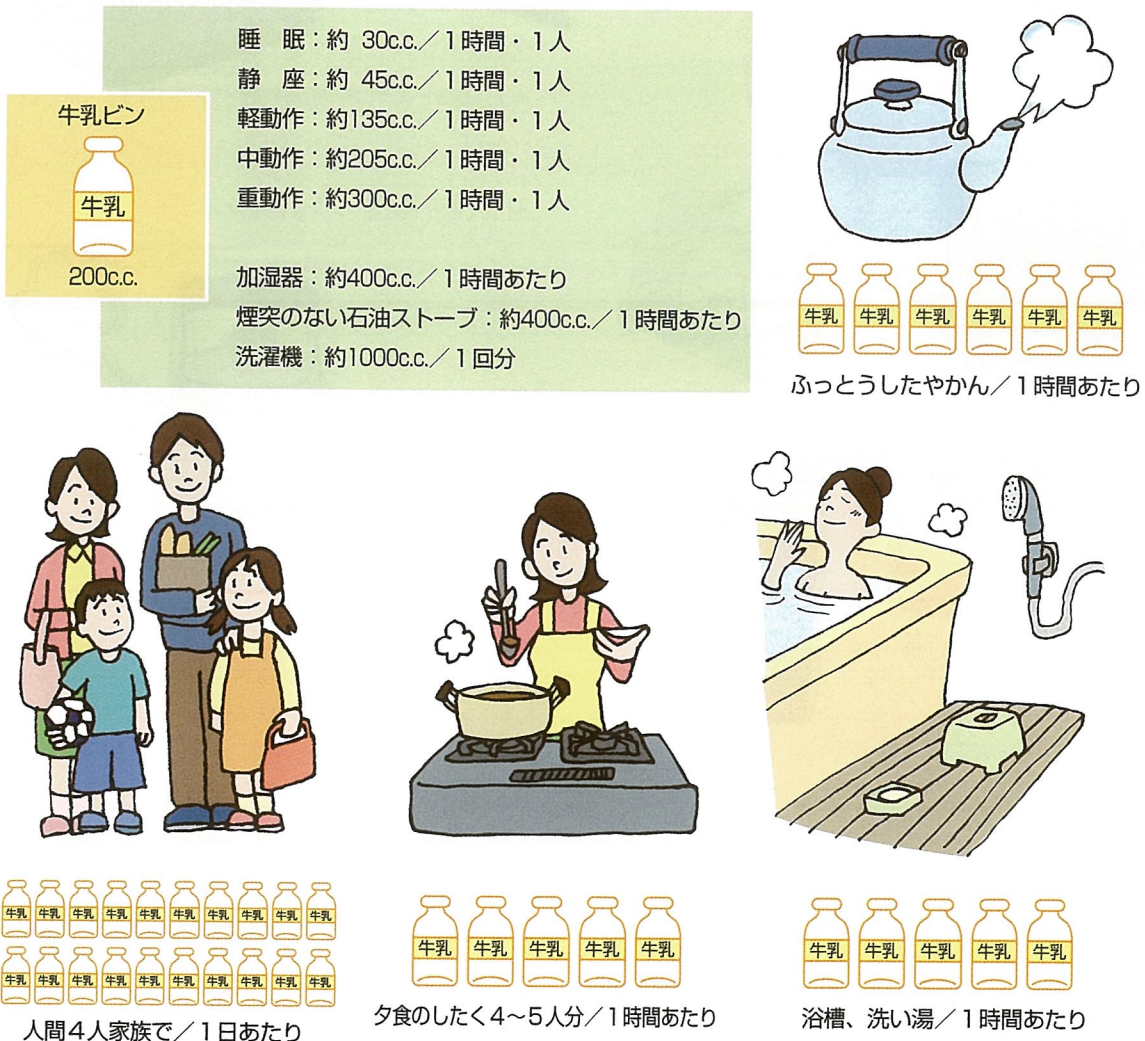
ができます。

閉めきったままの室内の空気は、生活しているとどうしても汚れがちになりますので、1年を通して外の新鮮な空気を入れることは、健康のためにも大切なことです。

※空気を入れ換えるには

- (1) 窓を開ける（換気用小窓をあけておく）
- (2) 換気扇をまわす
- (3) サッシの換気用小窓をきちんと開けておく

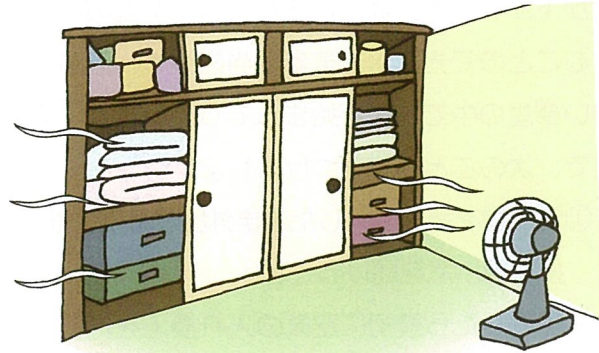
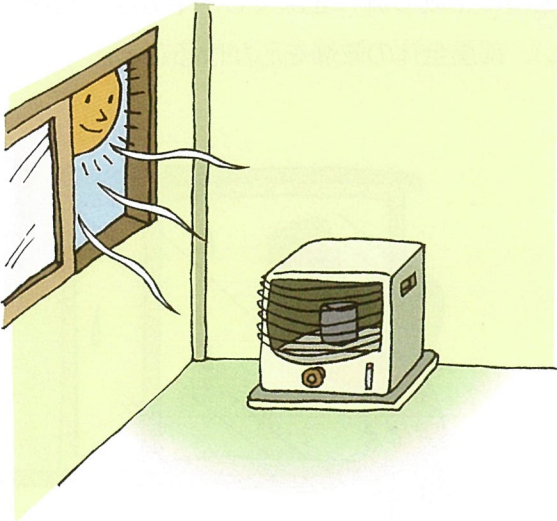
気づかないうちに、こんなに水分が空気中に出ています



●室内は開放的に

結露は、各部屋の温度差が大きいほど起きやすいため、日差しの暖かい昼間は、ふすまや扉を開けて室内全体を開放的にして、各部屋の温度のむらをなくし、寒い部屋をつくらないように心がけましょう。

なお、つゆどきや雨天のときには、窓をあけないようにしましょう。



●空気の流れを良くして

タンスなどの家具は壁、床から少し離し、ときどき、扇風機で隙間に風を送り込むなどの工夫をし、空気の流れを良くしてください。

押入は昼間は開放して、ふとんもつめすぎないよう気をつけましょう。

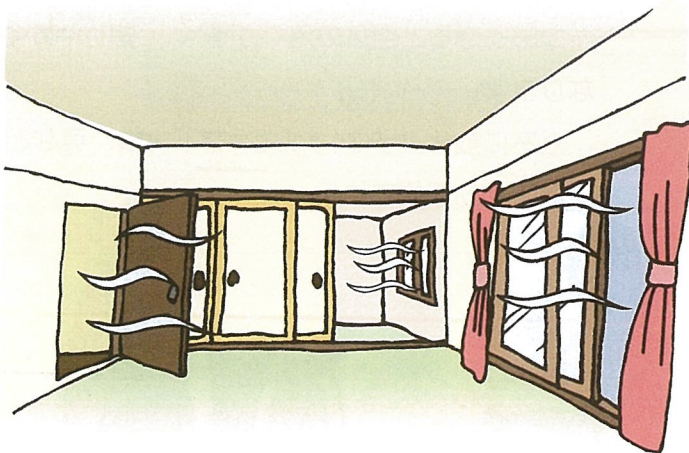
つめすぎると空気の流れが悪く、湿りやすくなります。

浴室に敷くような「すのこ」を下、横、奥などにおくと効果的です。

●ご注意

昼間不在がちなお宅は、どうしても部屋の温度が下がります。温度が下がれば、空気の中に含むことのできる水蒸気量も当然減り、誰もいない部屋の中で結露が始まってしまいます。そこで、次のことに気をつけましょう。

- ①洗濯物を室内に干したまま外出する場合は、換気用小窓を開けること。
- ②帰宅したら最初に空気の入れ換えを行い、新鮮な空気を部屋に入れてから暖房すること。



■もし結露が発生したら

結露に十分気をつけて生活していても、結露が起こりがちです。

そんな時には、次のことを励行しましょう。

- ①結露が発生したら、定期的に拭き取りを行う。
- ②拭き取りが終わったら、1、2度空気を入れ換えただけでは結露は止まらないので、部屋全体の空気の流れをよくし、十分な換気を行い、部屋全体の乾燥を心がけること。

